

安曇野屋敷林 サポーター通信

発行日/2016年10月8日

編集・発行/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/安曇野ブランド担当 ☎0263-71-2053

<http://keikan-azumino.net>

第19号

「砺波屋敷林視察ツアー」報告

場々 洋介

平成28年9月22日から23日の2日間 砺波に屋敷林の視察ツアーにサポーターを含め14名（内女性4名）が参加した。過去2回サポーターで視察がありましたが、宿泊するのは初めてでした。砺波カイニョ倶楽部の方々と交流会も一つの目的でした。22日8時に市役所に集合し 市からお借りしたマイクロで、安房 高山経由でカイニョ倶楽部会長になられた出村さんと高畑さんと待ち合わせました。

あいにくの小雨の天候でしたが大雨にはならず、助かりました。

五箇山インターで降り ささら館で昼食。

最初の見学は 重要文化財 岩瀬家



五箇山は800年前 源平で敗れた平家の落人が逃げてきたといわれています。中でも岩瀬家は300年前に建設され、加賀藩の塩硝を取りまとめ納入する上煮役の家。

5階建ての合掌造りで3～5階は養蚕の作業場となっています。暖房効果のため上階の床は透かしの目皿になっています。

現在 夫婦で暮らし 館内の説明をしてくれる。



2番目の訪問は五箇山の菅沼集落

集落は白川郷と共に世界遺産になっており、国道から10mほど下がるためにエレベーターが新設されました。

すべての建屋は店舗となっていますが、白川郷より素朴な情緒が残っています。観光客も多かった。その後となみ散居村ミュージアム チューリップ四季彩館を見学し コスモス荘に向かう。



カイニョ倶楽部の参加者は出村さん 高畑さん 田中さん 天野さんの4名でした。大いにお互いの会の意見交換で盛り上りました。カイニョ倶楽部の実績は大きく、一方であらたな活動に対して突破口を探しているようでした。

来年のフォーラムには、カイニョ倶楽部を御呼び出したいと思います



二日目 岡本宅を見学する。この敷地は大変広く 他に類を見無いそうです。砺波野市の重要建造物となりまた屋敷林も重要樹林として登録しています。屋敷林の手入れに40万円以内で県市の補助金がつくそうです。



地元新聞の取材を受ける

高田宅を見学する。切妻の民家ですが、正面の茅葺が印象的でした。高田さんはカイニョ倶楽部のメンバーだそうです。

砺波市には岡本家同様に砺波市保存屋敷林制度があり、平成7年3月 指定第10号 とあり、エドヒガン・杉他とプレートが表示されていました。



新藤先生の顔を観たく急遽 新藤宅を 訪問した。玄関前の2本の柿木に出迎えられました。家屋は典型的な アズマタチ です。



「砺波屋敷林視察ツアー」参加者の感想

サポーター 白井 康彦

カイニョの木々と立派な家屋を見せていただき圧倒され、そこに砺波の市民やカイニョ倶楽部の方々の長年の積み重ねを感じさせられました。一方安曇野の屋敷林について自分がほとんどわからないことにも気づかされ、両者に共通した維持管理のために持ち主と市民の理解を深めて、市制とどうつながるか 自分にできることを考えていきたいと思います。

屋敷林メンバー 場々 洋介

2日間の砺波屋敷林視察ツアーでしたが五箇山の集落や砺波市保存屋敷林の制度を確認することが出来ました。またカイニョ倶楽部の方々と交流が出来有意義な旅となりました。現在 安曇野市では 緑の基本計画を策定中です。

砺波の制度などは是非参考に 屋敷林に温かい目を向けてほしいと願うものです。来年3月11日(土)に安曇野屋敷林フォーラム2017を開催する予定です



高台にて 砺波平野をバックに

文責：場々